

5. にぎわいや利便性向上への取り組み

管理運営:(一社)御堂筋まちづくりネットワーク

ワゴンショップ・街角コンサート

- 目的としていた道路空間の広場化、道路空間とセットバック地相互による更なるにぎわいの創出を図るため、オドナビルセットバック地において音楽イベント「街角コンサート」の開催や「ワゴンショップ」の出店を実施しました。
- 道路空間とセットバック地相互の空間を活用することで、一定の集客、にぎわい創出効果が得られることを確認しました。



ワゴンショップ
(平成30年5月18日撮影)



街角コンサート
(平成30年5月18日撮影)

フリーWi-Fiの設置

- 沿道ビルの協力により、期間中には御堂筋に訪れる方の利便性向上を目的として無料でご利用いただけるフリーWi-Fiを設置しました。
- 4月の認証ベース利用数は667回で、ユーザー数は536人をカウントしました。



- 淀屋橋オドナの壁面後退部分で開催されるイベント時には、パークレットが観覧場所になるなど、憩いとにぎわいを創出する新たなパブリックスペースとして活用されました。

- 日常では、ビジネスマンの憩いの場として、会話を楽しむ場として、食事をする場としてなど様々な利用が行われていました。

(仮称)御堂筋パークレット社会実験〔淀屋橋編〕／発行:平成30年7月(更新:令和元年8月)

大阪市建設局企画部企画課(道路空間再編担当)
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC (ITM棟) 6階 TEL:06-6615-6785

一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク 事務局
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 (株)竹中工務店内

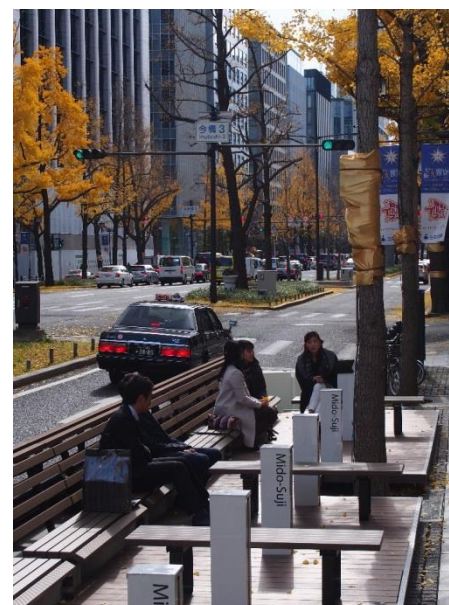


(仮称)御堂筋パークレット社会実験

実施期間:2017.11.20~2018.5.21

淀屋橋編〔愛称名:いちょうテラス淀屋橋〕

パークレットとは、道路空間を活用してウッドデッキやベンチを配置し、にぎわいや憩いの空間の創出をめざし設置する休憩施設で、アメリカをはじめとした都市で取組まれています。車道の一部や歩道施設帯の活用によって創出された空間は、憩いとにぎわいを創出する新たなパブリックスペースとして多くの方に利用されていました。



大阪市建設局 一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク

1. 社会実験実施の背景

御堂筋完成80周年記念事業の一環として公民により実施

- 2017(平成29)年に実施した(仮称)御堂筋パークレット社会実験は、御堂筋完成80周年記念事業の一環として、淀屋橋オドナ前の道路空間において、御堂筋でまちづくり活動を行っているエリアマネジメント団体である(一社)御堂筋まちづくりネットワークと、公民で組織した御堂筋完成80周年記念事業推進委員会との連携により実施しました。



人中心の空間へと再編することをめざす御堂筋の将来の姿を可視化

- 実施当時、御堂筋の空間のあり方について委員会で検討が行われていましたが、パークレット社会実験を通じて人中心の空間へと再編することをめざす御堂筋の将来の姿を可視化すること、そして「御堂筋未来ビジョン」において示されている空間整備の基本方針(テーマ)である利活用や空間の質、空間構成を視点として、道路空間における広場のあり方を導き出すことを目的としています。

2. 社会実験の概要

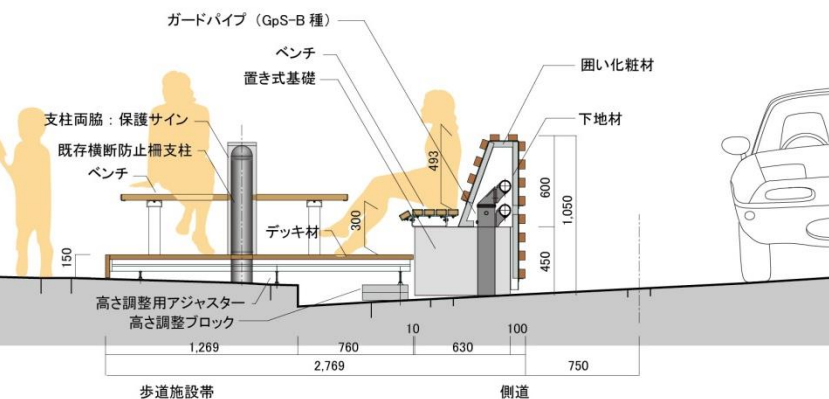
期 間	2017(平成29)年11月20日(月)午前11時～2018(平成30)年5月21日(月)
場 所	御堂筋淀屋橋オドナ前の歩道及び一部側道(大阪市中央区今橋4丁目1-1)
実施主体	御堂筋完成80周年記念事業推進委員会(事務局:大阪市建設局道路部道路課)
連携団体	(一社)御堂筋まちづくりネットワーク
愛 称 名	「いちょうテラス淀屋橋」 - より多くの方にご利用いただくとともに、本社会実験や取り組みの基幹事業である御堂筋完成80周年記念事業についての関心を高めることを目的として、パークレットの愛称を募集。 - 応募総数93件のなかから、審査委員会による審査の結果、愛称を「いちょうテラス淀屋橋」に決定。



3. 安全対策

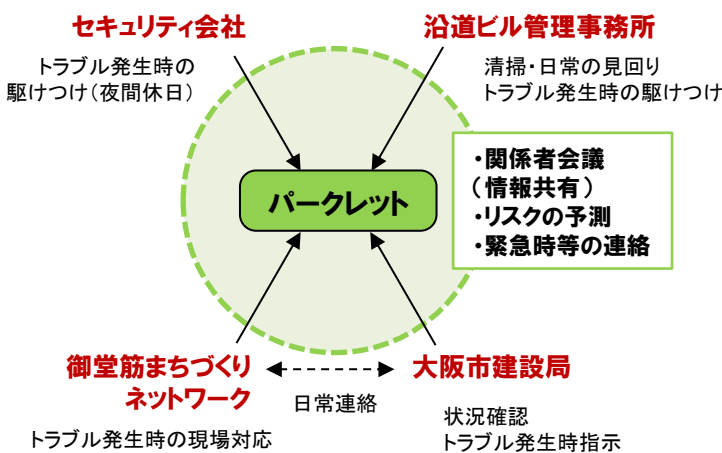
パークレットの構造

- パークレットは車道に張り出した形態となっているため、車両などが衝突しても安全を確保するガードパイプを内蔵した構造とするほか、パークレット前後にクッション材(樹脂製防護柵)の設置を行うとともに、夜間の視認性を確保する反射板の設置といった安全対策を行っています。



管理運営体制の構築(リスク・クライシスマネジメント)

- パークレットを安全に管理を行うため、公民連携による管理運営体制を構築しています。
- リスク管理に関する関係者会議を月1～2回開催し、トラブル発生の有無等の情報共有を行っています。

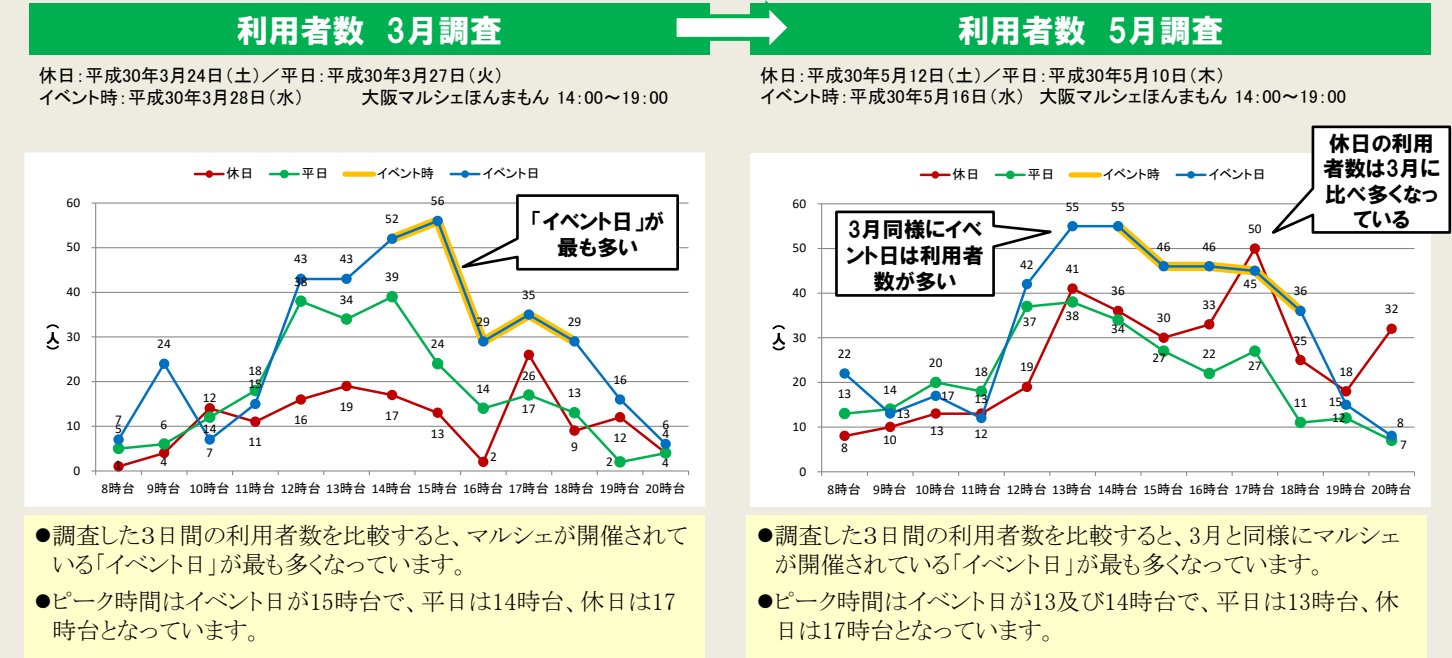


4. 検証結果概要

〔利用者数・ニーズの検証〕

3月⇒5月 休日:180人増/平日:54人増/イベント日:50人増

- 3月調査と比較し、5月の利用者数は、全ての曜日において増加しています。これは、気候による影響とともに、パークレットの利用が定着してきたことが増加した要因であると考えられます。

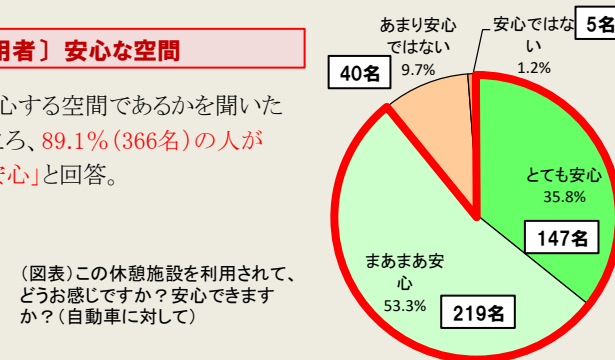


〔安全性の検証〕

- 快適性、満足度については総じて高い評価が得られましたが、一方で沿道地域から「ゴミ・ポイ捨て」といった懸念事項あることをお聞きしています。
- 事故などの大きな事象は発生していませんが、側道や歩道内を自転車が南北に通行していたことから、歩行者との交錯を図る対策が必要であると考えています。

〔利用者〕 安心な空間

- 安心する空間であるかを聞いたところ、**89.1%(366名)の人が「安心」と回答。**



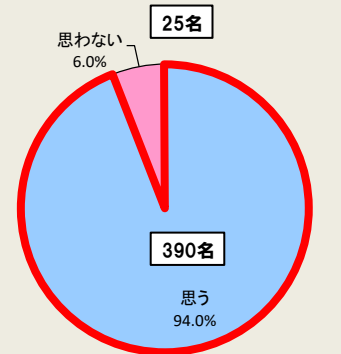
(写真)パークレット横、側道を通行する自転車

〔機能の検証〕

- 94%の人が御堂筋にパークレットがもっとあれば良いと回答しており、高いニーズを確認しました。
- 機能面では、「パラソル等の日よけ」の設置を求める意見が突出して多く見られました。

〔利用者〕 パークレット等・休憩施設そのものに対するニーズ

- パークレットが御堂筋にもっとあれば良いと思うかについては、**94%(390名)の人が「思う」と回答**しており、ニーズの高さを確認。



〔利用者〕 機能ニーズ

- 機能ニーズについては利用者及び沿道商業者ともに「パラソル等の日よけ」が最も多い。

